

「デッチ上げ!?!」

秋雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて最近首を傾げる話題が2つ。

一つ目が大阪地検特捜部の主任検事が逮捕された件。

供述によると故意ではないがディスクの改ざんは認めているとのこと。動機が今一つ分かりませんが、デッチ上げの冤罪で無実の女性の人生を大きく狂わしてしまいました。検事がある気になれば一人の人間を社会的に抹殺することなんて簡単なことなんですね。

もう一つ、これが今号の本題ですが中国漁船に始まる日中関係の件。

真相はわかりませんが「当たり屋」説もあるとのこと。

先日、池上彰さんの番組でも解説されておりましたが、中国は今年中に支配する海域を拡大する目標があるとのこと。従ってそもそも漁船の衝突からして計画的な当たり屋行為であって、船長を日本に一度逮捕させること、それにより中国の世論を煽ること、そして団体旅行のキャンセルやレアアースの輸出禁止も最初から中国側のシナリオに書いてあった、らしいとの説。

もしこれが本当だとしたら、これもデッチ上げ。

本当かどうかはわからないのでちょっと置いておきますが、中国問題に関する報道を見ると「中国がまるでヤクザのように言いがかりをつけてきた」「それに対し日本の対応はあまりにも情けない」的な見方が大半を占めているようです。

しかし先日いつも寄る近くの中華料理店（中国人夫婦が経営していて、従業員も中国人。アパートを借りてもらっているのでもちのちのお客様でもあります）でランチをしていたら、店のテレビで船長の釈放に関するニュースが流れておりました。するといつもニコやかな女性店主が急に険しい顔つきになって傍にいた従業員と中国語でなにやらヒソヒソ話しています。

どうやらとても心配している様子ですが、さすがに日本人の客の前で話をするのは遠慮しているみたいでした。

他にも駅前のレストランにも中国人経営者のお店がありますし、これまたお世話になっている鍼灸院の院長も中国人。皆とても穏やかで真面目でいい人達です。

でも当たり前のことですが日本人ではないので、このような事件が起こればやはり本音では中国の味方でしょう。しかし経済的にも生活的にも日本人と中国人はすでに切っても切れない仲であり、国対国のつまらないイガミ合いは庶民レベルでは百害あって一利なしです。

不動産レベルでも都心の億ションやリゾート物件ばかりでなく、普通の中国人に普通の戸建てやマンションを買ってもらったり、アパートや駐車場を借りてもらってます。

媚を売るようなことは決してやってほしくないですが、それだけでなくとも経済が不安定なんだからもうちょっとウマくやってくださいよ、菅内閣のみなさん。

すっかり秋になってしまいました。風邪にご注意ください。

敬具